

問題 1 20 点 (4 × 5 点)

(1) 次の文章のカッコに入る言葉を埋めよ。

授業を 1 時間サボってアルバイトをした時の利益は、機会費用も含めると (1) 円となる。ただし、アルバイトの時給は 1000 円、授業の利益は 1 時間あたり 2000 円とする。

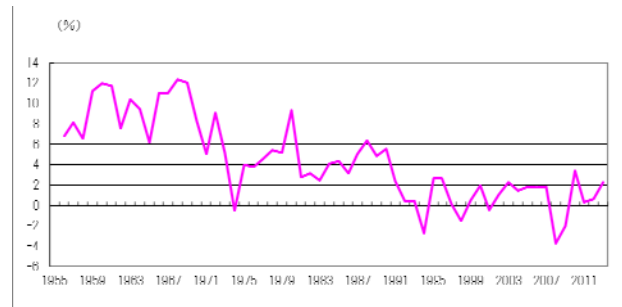
マルサスは著書『(2)』のなかで、人口は等比級数的に増えるが、食料は等差級数にしかなふえないので、いずれ需要不足になることを主張した。

サプライサイド経済学は、企業が活発に活動できるような政策が重要だとかんがえ、財政政策、特に税金に関しては、法人税などを (3) して、企業活動を活発にすることが重要だと考えた。

シュンペーターは、企業の役割は馬車の生産台数を増やしたりすることではなく、これまでになかった自動車を作り出すことが重要だと考えた。こうした考え方を (4) というキーワードで主張している。

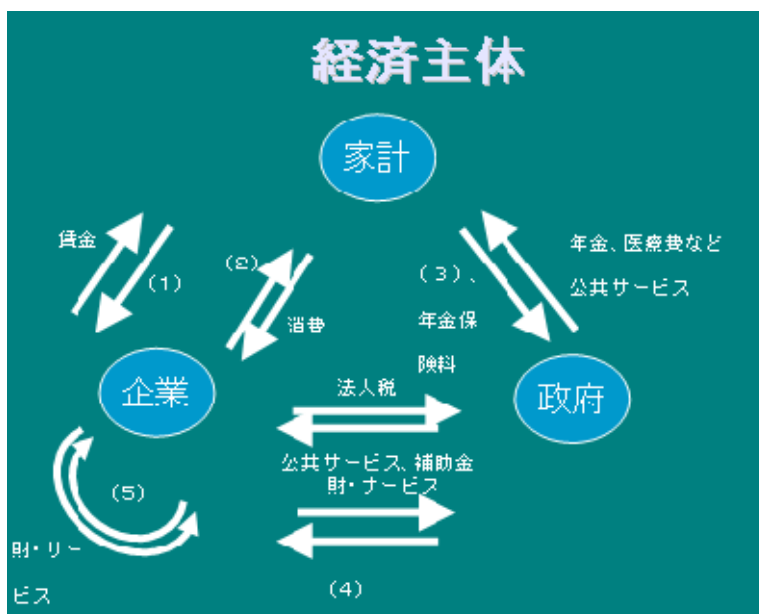
問題 2 10 点 (2 × 5 点)

次の (1)、(2) のグラフの経済指標名を書け。



問題 3 20 点 (4 × 5 点)

次の (1) から (5) に当てはまる言葉を書け。



問題4 20点(2×10点)

国民経済計算の諸概念について以下の値が与えられている。

(1) 国内総生産、(2) 国民所得はいくらになるか。

最終消費支出 250 総固定資本形成 120 在庫品増加 10
財・サービス輸出 60 財・サービス輸入 40 固定資本減耗 10
間接税－補助金 20 海外からの要素所得の受取 20
海外からの要素所得の支払 10

問題5 20点(2×10点)

次のデータが与えられているとき、2012年の実質GDP、2014年の実質GDPはそれぞれいくらになるか。

	2012	2013	2014
名目GDP	500	550	600
GDPデフレーター	100	110	150

問題6 (10点)

授業での疑問点、感想などを書いてください。空欄の場合は0点です。